

(報告様式2 成長型完了報告書)

2018年 5月 13日

公益財団法人 日本国際協力財団
理事長 秋山 進殿

団体名 NPO 法人道普請人
代表者役職名 理事長
代表者氏名 木村 亮 (印)

2018年度国際協力NPO助成
成長型事業完了報告書

貴財団の2017年度国際協力NPO助成成長型による助成を受けた「ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備事業フェーズ2」が平成31年3月30日をもって完了いたしましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1. プロジェクト名：ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備事業 フェーズ2
2. プロジェクト期間：2018年4月～2019年3月
3. 実施地域：ブルキナファソ、バンフォラ市
4. 援助対象者及び対象者数： 施工参加住民 約50名、直接裨益者（通行住民）約10000名
5. 上位目標（最終的に目指すゴール）：バンフォラ市の道路整備計画に土のう工法が採用され、適切に適用かつ維持管理されるようになる
6. 事業目標：バンフォラ市内の施工対象未舗装道路の通行性が年間を通して改善される。
7. 事業実施概況：
事業実施スケジュールの遅延または変更： 有 / 無 (チェックを入れてください)

【第1四半期】

2018年4月-5月：バンフォラ市役所との打ち合わせ

2018年6月：森重の渡航とバンフォラ市役所と工事開始に向けての具体的な準備開始

【第2四半期】

2018年7月：当団体エンジニアの田川による現場指導

2018年7月-8月：工事实施

2018年9月：当団体理事長の木村による現場指導（貴団体助成金外の資金による渡航）

(報告様式2 成長型完了報告書)

と市役所との会合、施工実績資料まとめ

【第3四半期】

2018年10月-11月:市役所との工事再開交渉を続けるも、土の採取の問題が継続していた上、市役所の予算も終了して工事延期

2018年12月:活動なし

【第4四半期】

2019年1月:バンフォラ市役所と総括ワークショップ打ち合わせ開始

2019年2月:総括ワークショップ実施

工事再開(完工)

第7セクターの補修実施

2019年3月:エンジニア田川による工事個所の確認と市役所エンジニアへの指導、マニュアル作り

8. 活動地域での反響(受益者へのアンケートやコメント等含む):

別紙2の総括ワークショップ内容を参照

9. 予期していなかったインパクト(ポジティブ、ネガティブ含む)があった場合は、記載してください。:

別紙2の総括ワークショップ内容を参照

実施した広報活動:

【本事業で計画され実施された広報活動】

- 総括ワークショップについての広報:参加者インタビューを含む地域ラジオ放送、全国紙記事(添付資料3,4)

10. 今後の展望と課題:

これまでの報告書で書いたように、本年度事業でも、ブ国政府およびバンフォラ市役所の予算執行の遅れや、重機故障と修理の困難さ、市役所の役割であった土の採取にまつわる問題など、政府や自治体の根本的なシステムの問題に多くぶつかった。結局、予定していたインフラ省のHIMO事業との協働は全くできず、本事業で雇用した人員のみで工事を実施し、また、良質土も市役所が採取できずに工事の目途が立たなくなったため、少なくない量を本事業で購入することになった。国の変革の速さや方向性、経済の発展の進み方から考えると、町における工事では、土を無料で近くから採取できることは少なくなり、購入することになってゆくであろうし、失業対策的性格が強いわりには短期雇用のみで技術も身につかず、持続的な雇用に結びつかない現行の労働集約型事業のボリュームも、緊急時やFood for Work的なものを除いて縮小してゆくことは確実である。

一方で、土のう工法による道路整備は、その質の高さで行政側にも住民側にもさらに認

(報告様式2 成長型完了報告書)

められるようになってきている。別紙の総括ワークショップ欄で触れた通り、市役所の道路整備担当部署は、自主的に簡単な道路整備の道具をそろえ始め、現在、土のう工法を用いて日常的に小規模な道路補修を行う小さなユニット、または市民団体を組織しようとしている。本事業で直接雇用した女性たちは、困難にぶつかりながらも、自分たちの実施した工事の成果から、大きな自信を持つようになってきている。私たちが初年度には計画していなかった方向で、事業が内発的に動き始めたといつて過言ではない。これは、援助事業として最も重要なポイントであり、人・モノ・カネ・タイミングなどが、うまくかみ合い始めたところともいえる。この動きをきちんとフォローし育てることができれば、持続的かつ質の高い道路整備を女性たちの雇用と結びつけてゆくことができそうである。

次年度事業では、HIMO 事業との協働は考えず、女性を中心に直接雇用し、マイクロファイナンス組織と結びつける予定である。希望者は、本事業参加から得た一時的収入を使って、マイクロファイナンス機関のサポート付きで小商いなどを開始することで、持続的な生計の安定を図る。女性たちは本年度の雇用において、心理的にエンパワーされた様子が観察されており、また、自分たちの「手」で稼いだシードマネーでの起業でもあるので、もしかすると、通常の起業サポート事業よりも効果があるかもしれないと期待している。クレジット・グループの形成に関しても、道路工事という過酷な共同作業を1か月以上共にした仲間であるので、通常のグループ形成よりも効果的なグループとなる可能性がある。さらに、次年度事業では、市役所の道路整備グループの組織化に関しても、どうやって持続的な事業にしてゆくかを一緒に探ってゆきたいと考えている。

11. 事業担当者および問合せ先：

福林 良典・木村 亮

電話番号：090-9108-5967（福林）、090-1132-1357（木村）

e-mail アドレス：yfukurin@gmail.com（福林）

kimura.makoto.8r@kyoto-u.ac.jp（木村）

12. 添付書類

(1) 助成金支出結果（成長型会計報告様式-別紙3、明細表、領収書コピー）

※各領収書には番号を付し、明細表と対応するようにしてください。

※外貨で支払ったものは円換算額とレートも記してください。

(2) 事業の実施結果を証明する写真

以上

別紙1 (完了報告用)

8. 事業内容

| 上位目標 (申請書に記載した上位目標) | 達成度 |
|---|--|
| バンフォラ市の道路整備計画に土のう工法が採用され、適切に適用かつ維持管理されるようになる。 | バンフォラ市の道路整備計画に土のう工法が採用されるまでには至らなかったが、住民の満足度は高く、バンフォラ市当局内でも土のう工法の利点が認められ、採用される土壌ができた。 |
| 事業目標 (当年度に目指すゴール) | |
| バンフォラ市内の施工対象未舗装道路の通行性が年間を通して改善される。 | バンフォラ市内の施工対象未舗装道路の通行性が年間を通して改善された。 |

| 活動計画 (申請書に記載した具体的活動) | 実施状況 | 活動実施成果と確認方法 (申請書に記載した期待される成果の達成度についても記載してください。) |
|----------------------------|--|---|
| 活動1：バンフォラ市道路局との道路整備に向けた打合せ | 市役所側の抱える問題により、想定よりも時間がかかった。しかし、無事に施工開始まで進めることができた。 | 工事実施についての協定文書 (MOU) 締結 |
| 活動2：土のう工法を利用した道路施工 | 活動1で触れた市役所側の問題がなかなか解決せず、工事の進捗が遅れがちであったうえに、市役所 HIMO (労働集約型インフラ整備) 事業資金の遅配が続き、市役所側からの人員派遣が叶わなかった。これらにより、工事は雨季にずれ込み、さらに今年は雨季が長く、多く、また、土地の持ち主からの拒否にあい、土の採取に問題が生じた。こうしたことから、本事業で多くの土を購入し、本事業で雇用した | 第4セクター内 4.03号道路 工事道路距離 650m 完工 (第3四半期：430m、第4四半期：220m) 追加工事：第7セクター内 7.31号道路補修 補修距離 420m |

(報告様式2 成長型完了報告書)

| | | |
|----------------------------|--|---|
| | <p>人員のみで工事を実施して、予定通り完工し、追加の補修工事も行った。</p> | |
| <p>活動3：施工実績資料整理</p> | <p>ほぼ終了（標準化についてのレポートのみ、市役所担当エンジニアと内容調整中）</p> | <p>現地マネージャーGnanouによる土のう工法標準化についてのレポート（一部を総括ワークショップで発表） エンジニアの田川による土のう工法エンジニア教本</p> |
| <p>活動4：雨季後の状況確認</p> | <p>今回の雨季が非常に厳しいもので、土の家なども壊れるほどであったのに対し、施工箇所は雨季終了時に未完ではあったものの、非常に良い状態で保たれていた。もちろん、完工後のエンジニアの確認時にも良好であった。本年度は特に他の道との差異が際立ち、住民の満足度は非常に高まった。</p> | <p>木村理事長、エンジニアの田川、現地マネージャーGnanou、バンフォラ市役所の道路整備担当部署のディレクター（エンジニア）による確認を実施</p> |
| <p>活動5：フェーズ2の総括ワークショップ</p> | <p>今回も前年度同様、非常に活発かつ本質的な意見の交換が行われた。また、本年度は雇用した女性の代表が自らの意見を述べ、非常に注目され、彼女のインタビューの一部はラジオでも中継された。</p> | <p>参加者 道普請人：4名 市役所：9名 住民（議員含む）：7名 その他道路行政関係者：5名 被雇用者代表：3名 うち、発言者 9名</p> |

* 行数は活動数に合わせ適宜修正してください。

* 研修を実施した場合は、日時、場所、指導員、参加者人数（新規、継続の別）、研修内容（研修の回数含む）を実施状況に明記してください。

* 成果の評価方法の詳細を記載してください。